

紙の博物館

☎ 893-0886

●開館時間 9:00~17:00

●休館日 毎週月曜日

(ただし、祝日は開館し翌日休館)

- 紙すき体験料 20円値下げしました。
420円 → 400円
- 販売コーナーは、入場無料です。
- 購入日から1年間、何度でも入場できる
お得な年間観覧券(1,500円)販売中
- ホームページが新しくなりました。
<http://kamihaku.com/>
- Facebook開設しました



紙の博物館公認キャラクター
源太さん

「紙業大国・土佐」の土台をつくった偉人、吉井源太(1826-1908)は、幕末に伊野で生まれ、明治の終わりに亡くなるまで、製紙家として活躍しました。源太の家は代々続く「御用紙漉き」という位のある紙すきで、土佐藩が使う紙や幕府へ献上する紙を漉いていました。源太はそうした技術を元にしながら、紙をたくさん漉けるように道具を改良したり、明治時代には薄くて破れにくい紙な

どを28種類も開発した功績で緑綬褒章をもらっています。また、他県への技術指導や、紙の原料となる植物の生産を増やすことにも熱心でした。いの町には源太の書いたたくさんの日記が、文化財として保存されています。

その功績から「土佐紙業界の恩人」と称えられる源太さんのキャラクターを、人形作家のかわぞうとうさんに制作してもらいました。

○第7回いの美術展

6月10日(火)~6月22日(日)

最終日は15:00まで

紙工芸・写真・書道・絵画・工芸・立体の6部門を募集し、その入選作品約150点を、紙の博物館に展示します。

問い合わせ

いの美術展実行委員会事務局

☎ 090-9554-8833

○第17回土佐の模型大展示会

7月13日(日)~7月21日(月)

土佐模型クラブ・フリーダムなどの会員が、精巧な手仕事で作上げた飛行機・車・キャラクター物などの模型約500点を展示します。

紙を材料に制作した作品を大募集!

○第29回紙とあそぼう作品展

作品募集 7月1日(火)~7月8日(火)

小学生以下の部、中学生以上の部

(大学生専門学校生まで)があり、個人・団体を問わずご応募いただけます。全応募作品を紙の博物館に展示します。たくさんのご応募をお待ちしています。

ギャラリー・コバ

☎ 893-1200

●開館時間 9:00~17:00

○ビーズアクセサリ&手づくり展 6月6日(金)まで開催中

手づくり仲間の展示会です。趣味で楽しみながら作った、色とりどりのビーズやガラス玉で作ったアクセサリなどのほか、日々楽しめる可愛い洋服や手提げバッグなどの小物類、合わせて約700点を展示販売します。

○初夏待ち・お洒落ハンドメイド展 6月8日(日)~6月11日(水)

南の風グループの手作り愛好家4人による展示会です。ちょっとお洒落な普段着をテーマに天然素材・着物素材の洋服・布小物類・アクセサリ、染タペストリーや着物・帯など約200点を展示販売します。

○古布・着物・リメイク展

7月12日(土)~7月15日(火)

高知市、井本さんご夫婦の展示会です。古布、着物リメイク、大島紬、久留米緋、世界に一つしかないリメイク洋服を中心に焼物、油画など約250点を展示販売します。

■第9回高知国際版画トリエンナーレ展

応募期間 4月1日~4月30日

展覧会 10月11日~11月30日

主催：土佐和紙国際化実行委員会
(事務局:いの町紙の博物館内)



高知国際版画トリエンナーレ展あれこれ



第9回展の作品到着!!

開梱作業に奮闘中!!

届いた荷物は、まず写真を撮り、梱包の種類や状態をチェックシートに記入してから開梱します。

取り出した作品は、紙や画面の状態を先ほどのチェックシートに記入し、表・裏の写真を撮影します。

次に、応募票・出品票などの記載事項に相違がないかを確認して受付番号を記入します。

こうして受付が終わった作品は、中性紙で保護して審査会まで保管します。

作業前の手洗いを励行し、会場は土足禁止にして温湿度管理を行うなど、紙作品の保存に適切な環境の整備に努めています。



第9回展覧会：10月11日(土)~11月30日(日)

主催：土佐和紙国際化実行委員会(事務局:いの町紙の博物館内)